



2021年3月1日

各位

会社名 株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリア  
代表者名 代表取締役社長 泉澤 摩利雄  
(コード番号 2687 東証1部)  
問合せ先 広報・IR担当 (TEL: 043 - 296 - 6621)

## 当社株式の指定替えに係る猶予期間の解除に関するお知らせ

当社株式につきまして、2021年2月において、月間平均時価総額及び月末時価総額が20億円以上となり、東京証券取引所の市場第一部銘柄から市場第二部銘柄への指定替え基準に該当しないこととなりましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2020年12月末時点において、月末時価総額が20億円未満となりましたが、下記（ご参考）のとおり、2021年2月の月間平均時価総額及び月末時価総額が20億円以上となりました。

この結果、当社株式は市場第一部銘柄から市場第二部銘柄への指定替え基準に該当しないこととなり、指定替えに係る猶予期間が解除となりました。

（ご参考）

東京証券取引所における当社株式の	2021年2月の月間平均時価総額	: 2,114,501,333円
	2021年2月の月末時価総額	: 2,055,984,000円
	2021年2月26日終値	: 406円
	2021年2月26日上場株式数	: 5,064,000株

#### 2. 今後の見通しについて

2021年2月期の連結業績につきましては、2020年12月30日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において記載いたしました通り、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、都心の宿泊需要の大幅な減少及び大規模イベントの開催中止などにより、ホテル事業を中心に売上高が大きく減少したことで、営業総収入75億円、営業損失5億70百万円、経常損失4億70百万円、親会社株主に帰属する当期純損失7億80百万円となることを見込んでおります。

2022年2月期の連結業績につきましては、東京都、千葉県における緊急事態宣言が解除されることを前提に、上期につきましてはゴールデンウィークさらには東京オリンピック開催などにより、レジャー需要は大きく改善していくことを期待しているほか、下期につきましても、旅行マインドの大幅な改善に加え、東京オリンピック終了後、大規模展示場のイベント使用が可能となることで、観光やビジネス目的で都心を訪れる人口は継続的に改善が進んでことを期待しております。

ホテル事業におきましては、宿泊需要の改善に加え、東京オリンピック開催時においては、ユニット型ホテルの一部施設はオリンピック運営関連企業の宿泊先として一棟貸切でご利用いただくことが決定しており、収益の確保を期待しております。また、コンビニエンス・ストア事業におきましても、店舗近隣の大型展示場におけるイベント来場者数の増加や、オフィスの昼間人口の回復により来店客数の回復が進むことを見込んでいるほか、マンションフロントサービス事業におきましても引き続き安定した収益の確保を見込んでおります。

クリーニング事業におきましては、新型コロナウイルス感染症を契機に急速に拡大したテレワークの定着が進むことで、Yシャツやスーツなどのビジネス衣料のクリーニング需要については改善が限定的に留まる懸念がある一方、マンションのゲストルーム及びホテル向けのリネンサービスについては、大きく改善することを見込んでおります。

今後も当社グループは、安定した利益を確保することにより株価向上を目指してまいり所存であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしました。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上